

平成 16 年度〔第 16-K2455-01 号〕二級河川巴川
総合治水対策特定河川に伴う自然環境調査業務委託（その 2）

報 告 書

平成 17 年 3 月

静岡県静岡土木事務所

特定非営利活動法人麻機湿原を保全する会

目 次

	頁
I. 業務計画	1
1. 業務の目的	〃
2. 業務の目的対象範囲	〃
3. 業務フロー	2
4. 業務の内容	〃
5. とりまとめの方法	6
(1) 資料収集	〃
(2) 河道状況調査	〃
(3) 植物調査	〃
(4) 魚類調査	7
(5) 鳥類調査	〃
II. とりまとめ	8
1. 資料収集(既往文献調査票)	1～2
2. 河道状況調査	
(1) 巴川	1～45
(2) 大谷川放水路	1～20
(3) 大沢川	1～21
3. 植物調査	
(1) 巴川	1～45
(2) 大谷川放水路	1～20
(3) 大沢川	1～21
4. 魚類調査	1～103
5. 鳥類調査	
(1) 巴川	1～47
(2) 大谷川放水路	1～20
(3) 大沢川	1～21

協議書

第1回目 平成16年9月21日(火)

第2回目 平成16年10月6日(水)

第3回目 平成16年11月2日(火)

第4回目 平成17年2月18日(金)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-1	距離	0K000	～	0K250	
河川 特 性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・砂層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂礫・砂泥				
	河道状況	河相は上流の分岐点まですべて人工河川で、全区間が勾配 1/2500 の緩勾配（平瀬）になっている。 河口～大谷川水門の区間には洲が形成されている。 大谷川水門から上流は逆T式護岸が直線的な河道をつくりだしている。 滞筋には魚類はみられるものの、水生植物はみられない。				
	河幅	河道幅	35.00m			
		水面幅	35.00m			
	特記事項	生物の生息空間	水生植物は生育しておらず魚類の隠れる空間（ハビタット）はない。			
		右岸	護岸天端にフェンスと植樹帯が設けられている。			
		左岸	同上			
その他		潮騒橋の左岸にはバイパス水路が設けられている。 河口より上流の高田橋付近まで（？）は古大谷湾（縄文時代前期約 6000 年前）と言われている。大谷川挾巾部。（河口～大谷川合流点付近）				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-2	距 離	0K250	～	0K550	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾 配	1/2500				
	河床状況	泥・砂泥				
	河道状況	この区間には流入する河川はなく滞筋は安定している。 水生植物（抽水植物）は大谷川橋から上流に向ってまばらに生育している。				
	河 幅	河道幅	35.00m			
		水面幅	23.00m			
	特記事項	生物の生息空間	魚類はみられるが水生植物はまばらに生育しているのみである。			
		右岸	護岸天端にフェンスと植樹帯が設けられる。			
		左岸	同上			
その他		左岸には大谷斜川、右岸には高松斜川が合流している。 旧大谷川拡巾部				

参考文献

① 周辺の地形は静岡広域都市計画図

② 地質は静岡・清水地域地質図

③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-3	距離	0K550	～	0K900	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	大正寺沢川から土砂が流出し洲を形成している。この付近より上流に向って濘筋の70%程度に水生植物（抽水植物）が生育している。				
	河幅	河道幅	35.00m			
		水面幅	23.00m			
	特記事項	生物の生息空間	魚類がみられ、カモ類、コサギ、アオサギも飛来している。水生植物や洲が魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端にフェンスが設けられているが植樹帯は一部の区間のみ設けられている。			
		左岸	同上			
その他		神明原橋付近から宮川2号橋付近までは神明原・元宮川遺跡があり放水路の建設に伴って発掘調査が行われた。大谷川抜巾部。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-4	距離	0K900	～	1K200	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地～田畑・泥がち砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	(普) 井庄沢川・異竜沢川が流入し、その付近には洲が形成されている。水上1号橋より上流に向かってほぼ滞筋一面に水生植物(抽水植物)が生育している。				
	河幅	河道幅	35.00m			
		水面幅	23.00m			
	特記事項	生物の生息空間	魚類がみられ、カモ類、コサギ、アオサギも飛来している。水生植物が魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端にフェンスが設けられ植樹帯が連続している。			
		左岸	同上			
その他		この区間も神明原・元宮川遺跡の発掘調査が行われた場所である。ゴミ集塵ネットが設けられている。 大谷川拡巾部。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項(原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
(1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-5	距離	1K200	～	1K500	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な田畑・泥層～泥がち砂泥礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	この区間に流入する河川はなく滞筋は安定している。 宮川1号橋に向ってほぼ滞筋一面に水生植物（抽水植物）が生育している。				
	河幅	河道幅	35.00m			
		水面幅	21.00m			
	特記事項	生物の生息空間	魚類がみられ、カモ類、コサギ、アオサギも飛来している。 水生植物が魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端にフェンスが設けられ植樹帯が連続している。			
		左岸	同上			
その他		この区間も神明原、元宮川遺跡の発掘調査が行われた場所である。 大谷川拵巾部。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-6	距離	1K500	～	1K800	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な田畑・泥層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	下流より宮川1号橋に向かって滞筋一面に水生植物（抽水植物）が生育している。右岸には富士見台都市下水路が合流しているが土砂の堆積は少ない。				
	河幅	河道幅	30.00m			
		水面幅	30.00m			
	特記事項	生物の生息空間	魚類がみられ、カモ類、コサギ、アオサギも飛来している。水生植物が魚類の生育空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端にフェンスが設けられ植樹帯が連続している。			
		左岸	同上			
その他		東名高速道路高架橋の下には搬路が設けられている。同橋の下付近は水生植物の生育は少ない。大谷川拡巾部。				

参考文献

① 周辺の地形は静岡広域都市計画図

② 地質は静岡・清水地域地質図

③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-7	距離	1K800	～	2K100	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な田畑・泥層～泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	右岸には(二)大谷川が流入し、左岸には(二)長沢川が流入している。富士見台橋の下流付近より片山1号橋付近は水生植物(抽水植物・ヒメガマに加え沈水植物)がみられる。(二)長沢川からは土砂が流出している。				
	河幅	河道幅	30.00m			
		水面幅	30.00m			
	特記事項	生物の生息空間	カモ類、コサギ、アオサギが飛来しているが水生植物が魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端にフェンスが設けられ植樹帯が連続している。			
		左岸	同上			
その他		大谷川拡巾部。				

参考文献

① 周辺の地形は静岡広域都市計画図

② 地質は静岡・清水地域地質図

③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項(原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-8	距離	2K100	～	2K450	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な田畑・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	この区間に流入する河川はなく滯筋は安定している。片山2号橋より上流に向って水生植物（抽水植物）がほぼ一面に生育している。				
	河幅	河道幅	25.00			
		水面幅	25.00			
	特記事項	生物の生息空間	カモ類、コサギ、アオサギが飛来しているが水生植物が魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端にフェンスが設けられ植樹帯が連続している。			
		左岸	同上			
その他		新規開削部。（大谷川合流点～高田橋付近）				

参考文献

① 周辺の地形は静岡広域都市計画図

② 地質は静岡・清水地域地質図

③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-9	距離	2K450	～	2K800	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な田畑～市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	この区間に流入する河川はなく滞筋は安定している。南小鹿橋の下流から中土呂橋に向って水生植物（抽水植物）がほぼ滞筋一面に生育している。				
	河幅	河道幅	25.00m			
		水面幅	25.00m			
	特記事項	生物の生息空間	カモ類、コサギ、アオサギが飛来しているが水生植物が魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端はフェンスが設けられ植樹帯が連続している。			
		左岸	同上			
その他		新規開削部。				

参考文献

① 周辺の地形は静岡広域都市計画図

② 地質は静岡・清水地域地質図

③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-10	距離	2K800	～	3K100	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	この区間に流入する河川はなく滞筋は安定している。中土呂橋より水管橋付近までは水生植物が滞筋のほぼ全面に生育している。小鹿橋の上下流には水生植物（沈水植物）が生育している。				
	河幅	河道幅	25.00m			
		水面幅	25.00m			
	特記事項	生物の生息空間	沈水植物と抽水植物が魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端にはフェンスが設けられ植樹帯が連続している。			
		左岸	同上			
その他		小鹿橋の上流右岸には階段が設けられている。 新規開削部。				

参考文献

① 周辺の地形は静岡広域都市計画図

② 地質は静岡・清水地域地質図

③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-11	距離	3K100	～	3K450	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥層～泥がち砂泥礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	(二) 小鹿沢川が流入し土砂が堆積している。小鹿橋より小鹿歩道橋の上流は水生植物（抽水植物）が少なく沈水植物がみられる。				
	河幅	河道幅	25.00m			
		水面幅	25.00m			
	特記事項	生物の生息空間	水生植物や小鹿沢川から流入した土砂は魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端にはフェンスが設けられ植樹帯が連続している。			
		左岸	同上			
その他		新規開削部。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-12	距離	3K450	～	3K750
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥層			
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M			
	勾配	1/2500			
	河床状況	砂泥			
	河道状況	この区間に流入する河川はなく滯筋は安定している。小鹿橋より田宮橋に向かって水生植物は抽水植物と沈水植物が生育している。ナスビ橋の下流。			
	河幅	河道幅	25.00m		
		水面幅	25.00m		
特記事項	生物の生息空間	水生植物が魚類の生息空間になっていると考えられる。この区間にはカモ類やコサギが飛来している。			
	右岸	護岸天端にはフェンスが設けられている。植樹帯はナスビ橋より巴川の分流点までない。			
	左岸	同上			
	その他	ナスビ橋は橋上デッキ（藤棚とベンチ）が設けられ休憩する市民がみられる。この左岸には階段が設けられている。新規開削部。			

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-13	距離	3K750	～	4K100	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	この区間に流入する河川はなく滯筋は安定している。小鹿橋より田宮橋の上流に向かって水生植物（抽水植物と沈水植物）が生育している。				
	河幅	河道幅	25.00m			
		水面幅	25.00m			
	特記事項	生物の生息空間	水生植物が魚類の生息空間になっていると考えられる。この区間にはカモ類やコサギが飛来している。			
		右岸	護岸天端にはフェンスが設けられているが植樹帯はない。			
		左岸	同上			
その他		右岸の市道大谷川右岸池田線の田宮橋から池田堰橋では幅員 4.0mの区間がある。新規開削部。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-14	距離	4K100	～	4K450	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	この区間に流入する河川はなく滯筋は安定している。田宮橋より池田堰橋の上流に向かって水生植物（抽水植物と沈水植物）が生育している。				
	河幅	河道幅	25.00m			
		水面幅	25.00m			
	特記事項	生物の生息空間	水生植物が魚類の生息空間になっていると考えられる。この区間にはカモ類やコサギが飛来している。			
		右岸	護岸天端にはフェンスが設けられているが植樹帯はない。			
		左岸	同上			
その他		新規開削部。				

参考文献

① 周辺の地形は静岡広域都市計画図

② 地質は静岡・清水地域地質図

③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-15	距離	4K450	～	4K750	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥層～泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	この区間に流入する河川はなく滯筋は安定している。池田橋より高田橋の上流に向かって水生植物は抽水植物（高茎～低茎）と沈水植物が生育している。				
	河幅	河道幅	25.00m			
		水面幅	15.00m			
	特記事項	生物の生息空間	水生植物に多様性がみられる。この区間も魚類の生息空間になっていると考えられる。 この区間にはコサギが飛来している。			
		右岸	護岸天端にはフェンスが設けられているが植樹帯はない。			
		左岸	同上			
その他		新規開削部。（高田橋付近）				

参考文献

① 周辺の地形は静岡広域都市計画図

② 地質は静岡・清水地域地質図

③ セグメント

河川・砂災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-16	距離	4K450	～	5K00	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	この区間に (二) 大慈悲院川が流入し土砂が堆積している。水生植物 (抽水植物) が生育している。				
	河幅	河道幅	25.00m			
		水面幅	15.00m			
	特記事項	生物の生息空間	水生植物や (二) 大慈悲院川から流入した土砂は魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端にフェンスが設けられているが植樹帯はない。高田橋より上流の栗原小橋までは管理道がない。			
		左岸	護岸天端にフェンスが設けられているが植樹帯はない。			
その他		ゴミ集塵ネットが搬路の下流に設けられている。後久川拵巾部。(高田橋付近から分流点)				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項 (原案)

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3 : デルタ河道 2-2 砂河道 2-1 : 砂利河道 1 : 扇状地河道 M : 山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-17	距離	5K000	～	5K300	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	この区間に流入する河川はなく滞筋は安定している。 水生植物は池田橋の下流にみられる植生に似ている。				
	河幅	河道幅	25.00m			
		水面幅	15.00m			
	特記事項	生物の生息空間	水生植物が魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端にフェンスが設けられているが植樹帯はない。			
		左岸	同上			
その他		後久川拡巾部。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-18	距離	5K300	～	5K600	
河川 特 性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥がち砂泥礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	この区間はほとんどJR東海道本線の下を流れている。栗原小橋から上流のJR東海道線までは水生植物が生育している。栗原橋より後久橋までは水生植物はほとんど生育していない。				
	河幅	河道幅	25.00m			
		水面幅	15.00m			
	特記事項	生物の生息空間	水生植物が魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端にフェンスが設けられているが植樹帯はない。			
		左岸	同上			
その他		旧後久川が栗原橋右岸に流入しているが、ここから下流はJR東海道線の下になるため土砂の流出状況は不明である。後久川拡巾部。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-19	距離	5K600 ~ 5K950	
河川特性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥がち砂泥礫互層		
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M		
	勾配	1/2500		
	河床状況	砂泥		
	河道状況	後久川橋より上流には水生植物はほとんど生育していない。		
	河幅	河道幅	25.00m	
		水面幅	15.00m	
	特記事項	生物の生息空間	水生植物が生育しておらず生物の生息空間は少ないと思われる。	
		右岸	護岸天端にフェンスが設けられているが植樹帯はない。	
		左岸	同上	
その他		後久川拵巾部。		

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災害復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

大谷川放水路河道状況調査票

図面番号	20-20	距離	5K950	～	6K300	
河 川 特 性	周辺の地形・地質	平坦な市街地・泥砂礫互層				
	セグメント	●3 ・ 2-2 ・ 2-1 ・ 1 ・ M				
	勾配	1/2500				
	河床状況	砂泥				
	河道状況	八反田橋より上流までは池田橋の下流から栗原小橋の上流にみられる水生植物が生育している。				
	河幅	河道幅	25.00m			
		水面幅	15.00m			
	特記事項	生物の生息空間	水生植物が生育し魚類の生息空間になっていると考えられる。			
		右岸	護岸天端にはフェンスが設けられているが植樹帯はない。			
		左岸	同上			
その他		古庄橋の下流付近には土砂が河床一面に堆積しているとみられる。後久川拵巾部。				

参考文献

- ① 周辺の地形は静岡広域都市計画図
- ② 地質は静岡・清水地域地質図
- ③ セグメント

河川・砂防災復旧工法選定等にあたっての技術的留意事項（原案）

平成9年5月 防災・海岸課 セグメント区分の概念とその特徴 参考資料-2

セグメント区分

3：デルタ河道 2-2 砂河道 2-1：砂利河道 1：扇状地河道 M：山地河道
 (1/5000～水平) (1/2000～1/5000) (1/400～1/2000) (1/60～1/400) (さまざま)

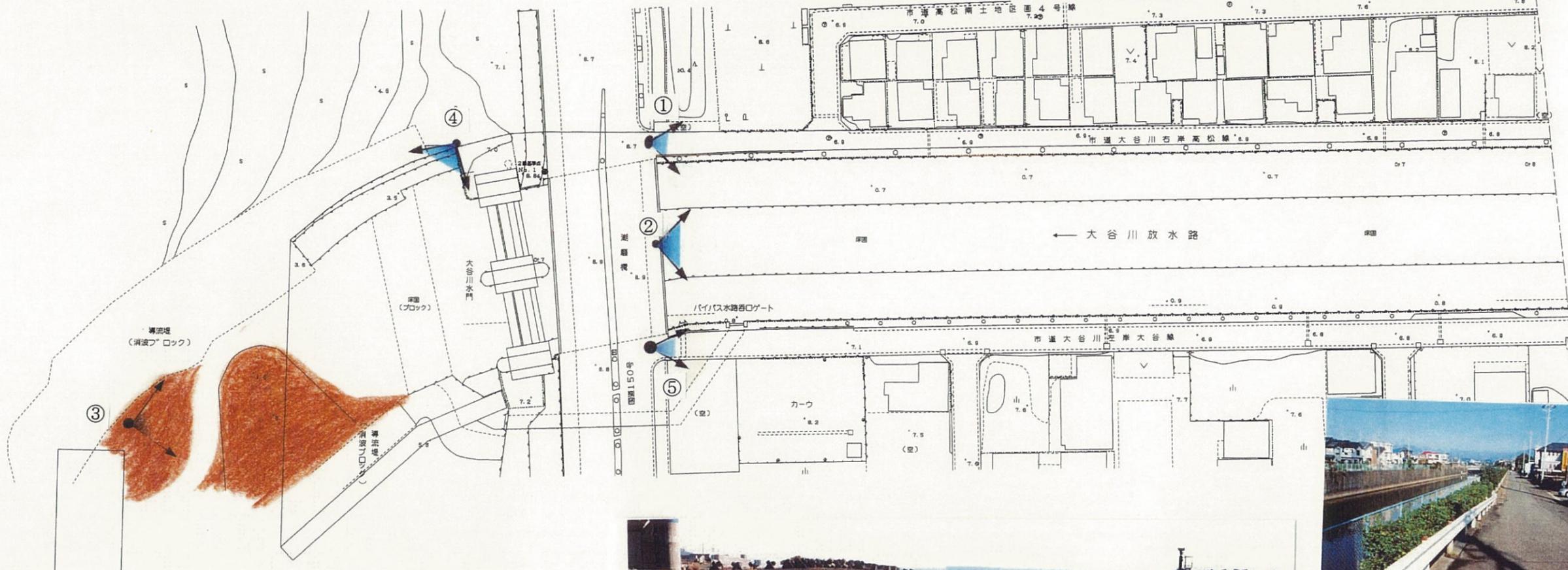
大谷川平面図 S=1:1000



①市道大谷川右岸高松線（上流へ）



②潮騒橋より上流を望む



⑤市道大谷川左岸大谷線（上流へ）



③河口より大谷川水門を望む
打ちあげられた洲

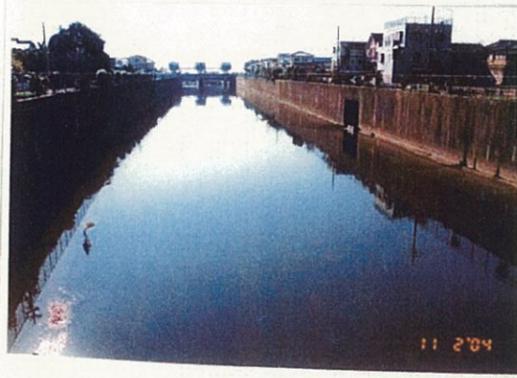


④大谷川水門の右岸より河口を望む

平成 年 度	
工 事 名	
工 事 箇 所	静 岡 市 地 先
図 面 の 種 類	大谷川平面図(20-1)
縮 尺 S=1:1000	図 面 番 号 業 中
測 量 年 月 日 H.	設 計 年 月 日 H.
事 務 所 名	静 岡 県 静 岡 土 木 事 務 所

大谷川平面図 S=1:1000

静岡市



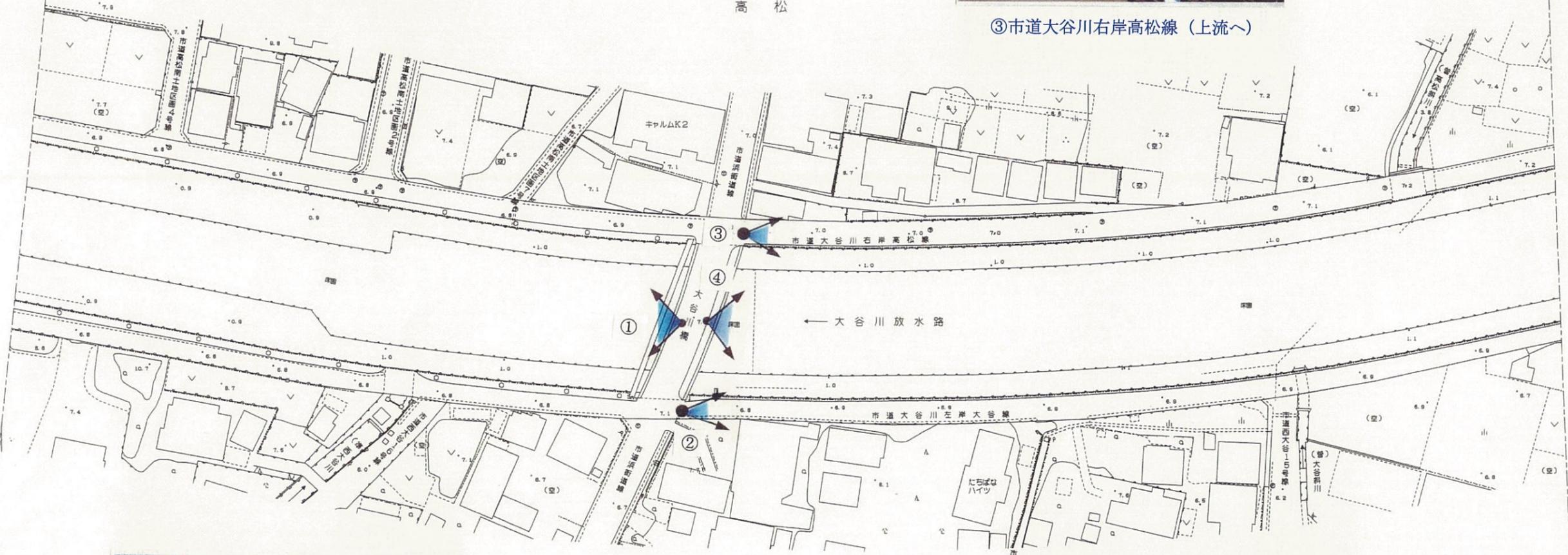
①大谷川橋より下流を望む



③市道大谷川右岸高松線（上流へ）

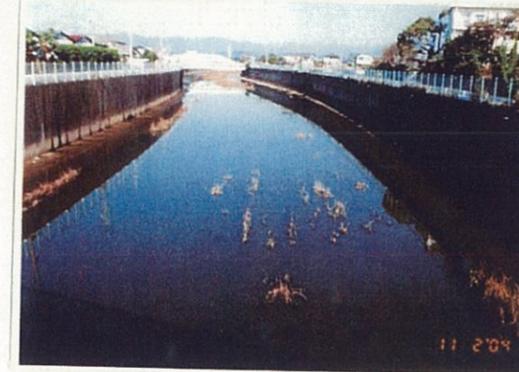
高松二丁目

高松



②市道大谷川左岸大谷線（上流へ）

大谷



④大谷川橋より上流を望む

西大谷

工事名	平成 年度	
工事箇所	静岡市地先	
図面の種類	大谷川平面図(20-2)	
縮尺 S=1:1000	図面番号	業中
測量年月日H.	設計年月日H.	
事務所名	静岡県静岡土木事務所	

大谷川平面図 S=1:1000

静岡市



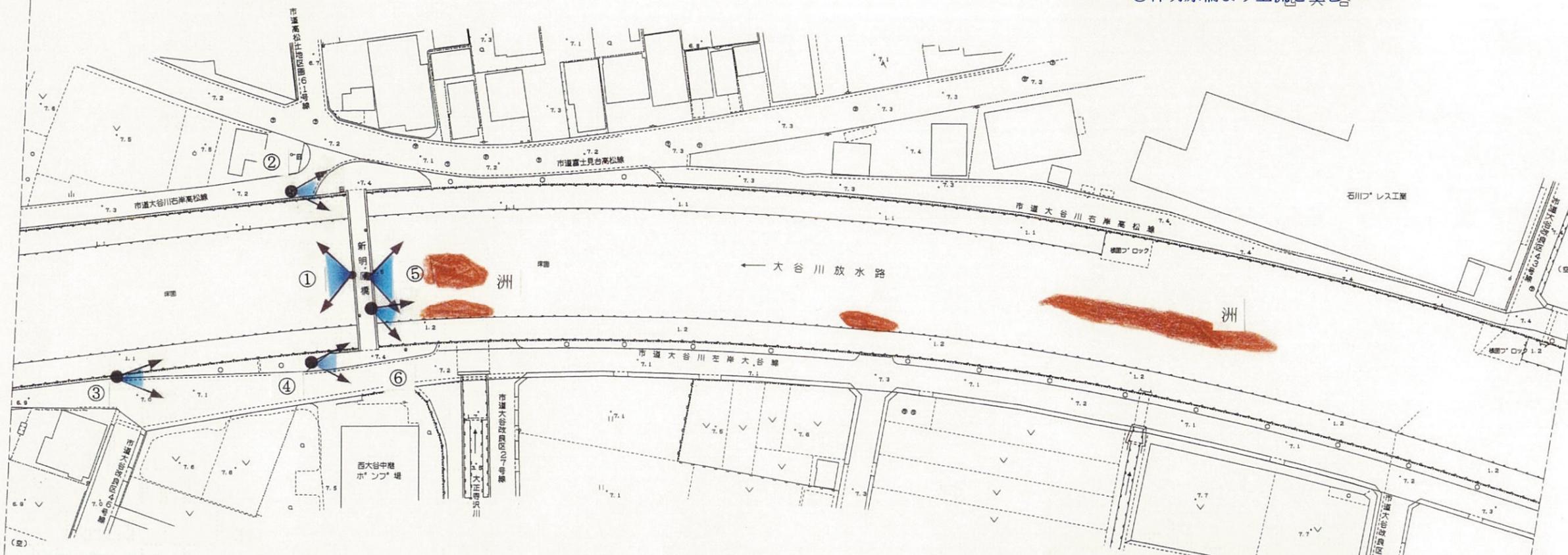
①神明原橋より下流を望む



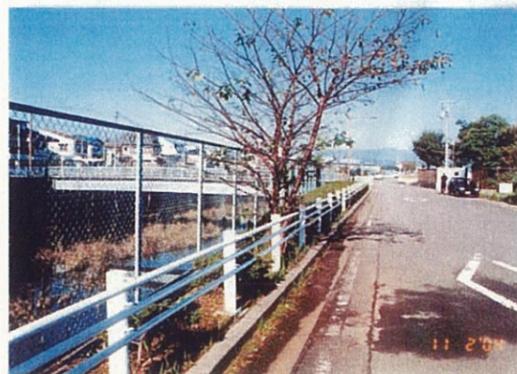
⑤神明原橋より上流を望む



高松二丁目



②神明原橋の右岸、市道との交差付近（上流へ）

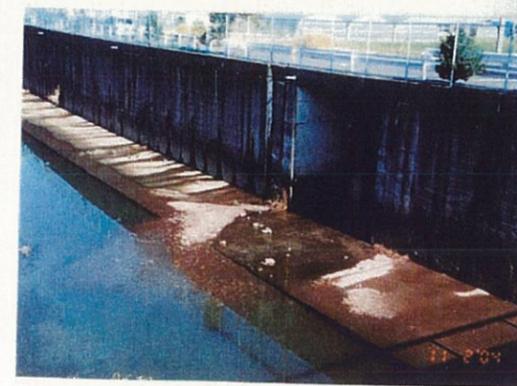


④市道大谷川左岸大谷線（上流へ）

西大谷



③神明原橋の左岸、市道との交差付近（上流へ）



⑥(二) 大正寺沢川が合流し、土砂（山砂利）が堆積している

工事名	平成 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-3)
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日 H. . . .	設計年月日 H. . . .
事務所名	静岡県静岡土木事務所

大谷川平面図 S=1:1000

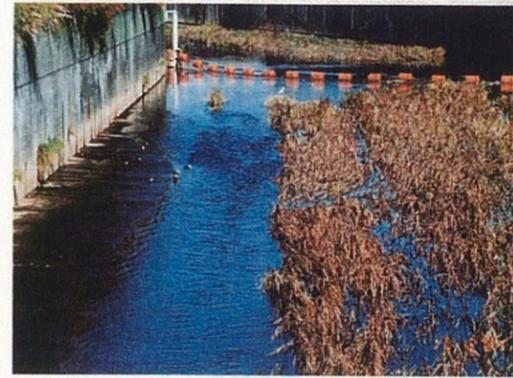
静岡市



①水上1号線より上流を望む

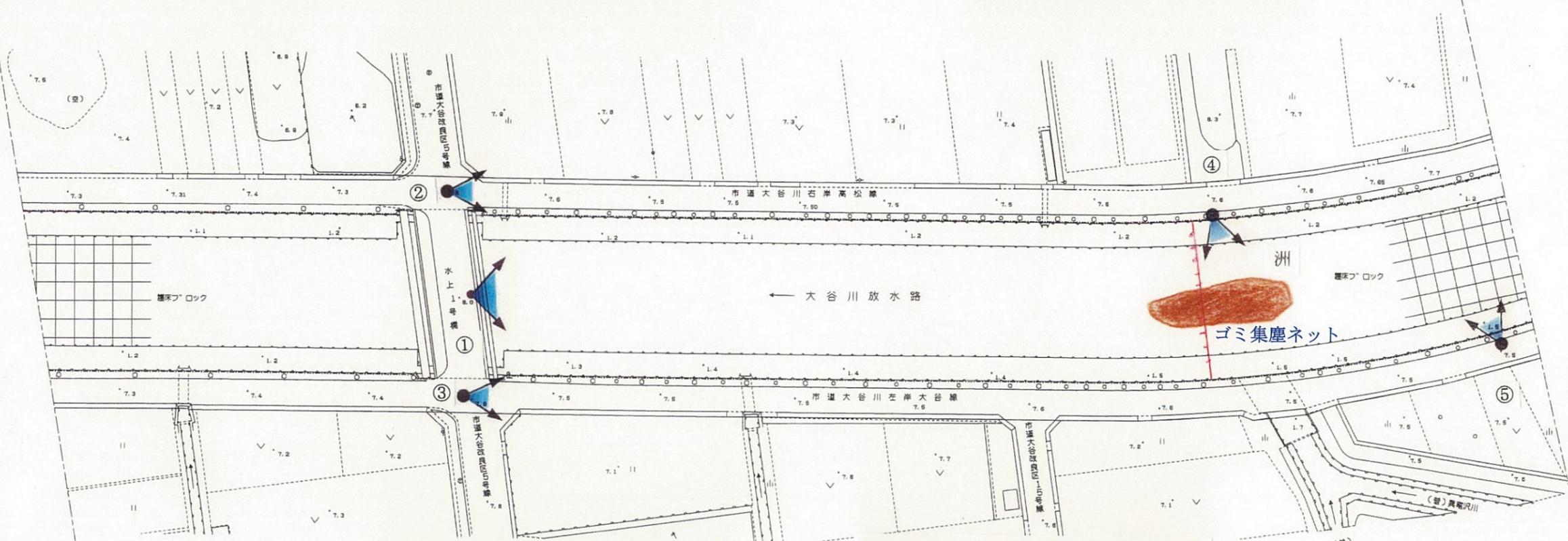


②市道大谷川右岸高橋線（上流へ）



⑤ゴミ集塵ネット

水上



③市道大谷川左岸大谷線（上流へ）



④（普）井庄沢川・異竜沢川の合流点

工事名	平成 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-4)
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日 H.	設計年月日 H.
事務所名	静岡県静岡土木事務所

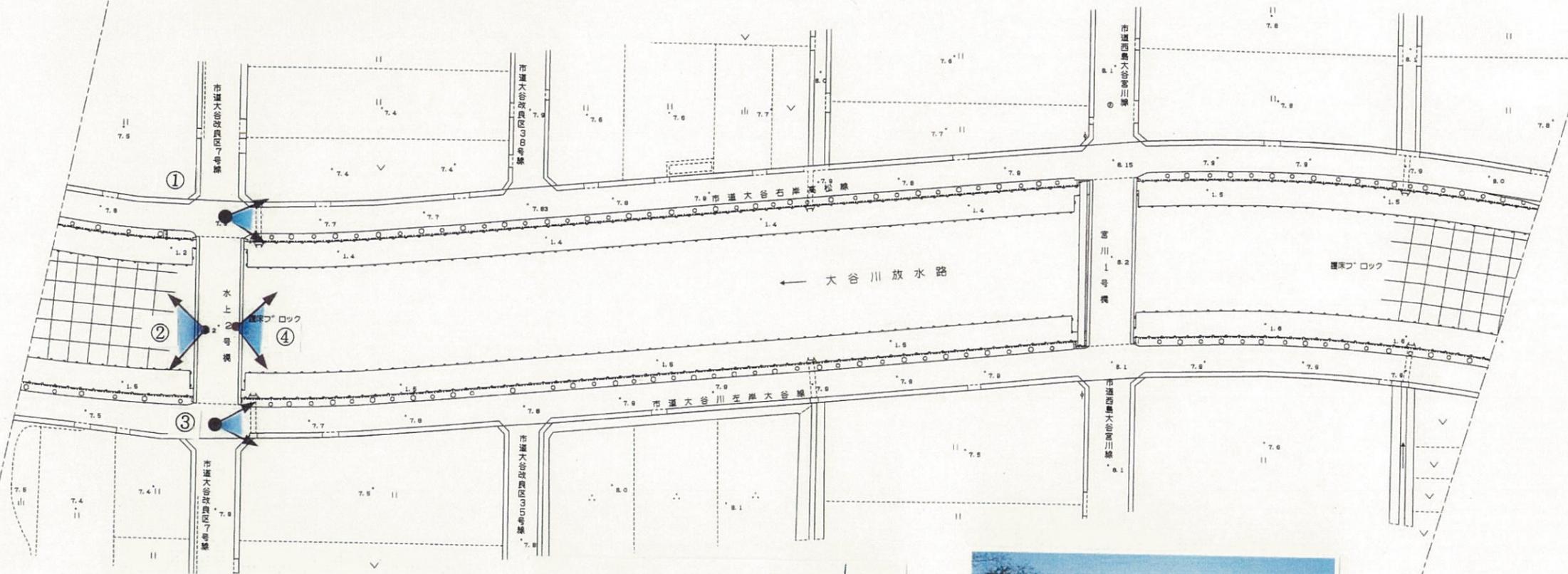
大谷川平面図 S=1:1000

静岡市

宮川



①市道大谷川右岸高松線（上流へ）



③市道大谷川左岸大谷線（上流へ）



②水上2号橋より下流を望む



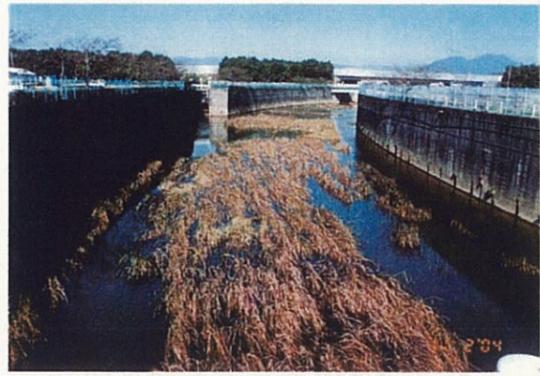
④水上2号橋から上流を望む

水

工事名	平成 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-5)
縮尺 S=1:1000	図面番号 案中
測量年月日 H. . . .	設計年月日 H. . . .
事務所名	静岡県静岡土木事務所



①市道大谷川右岸高松線（上流へ）



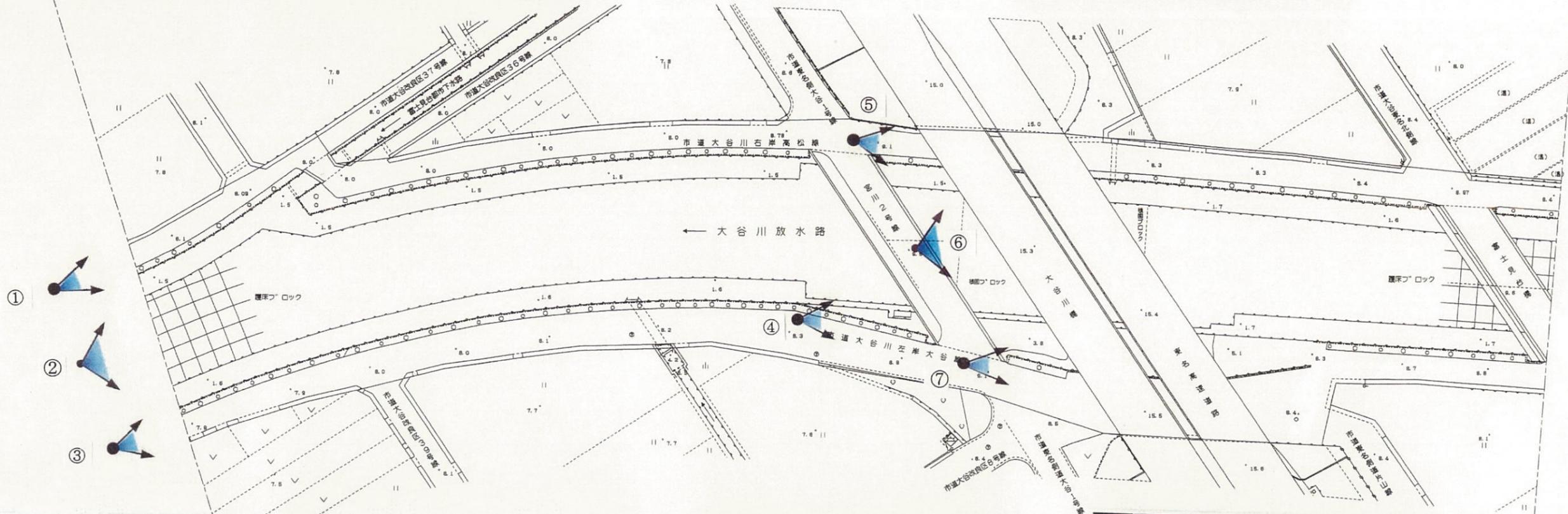
②宮川 1号橋より上流を望む

大谷川平面図 S=1:1000

静岡市



⑦市道大谷川左岸大谷線（上流へ）



③市道大谷川左岸高松線



④距離標



⑥宮川 2号橋より上流を望む



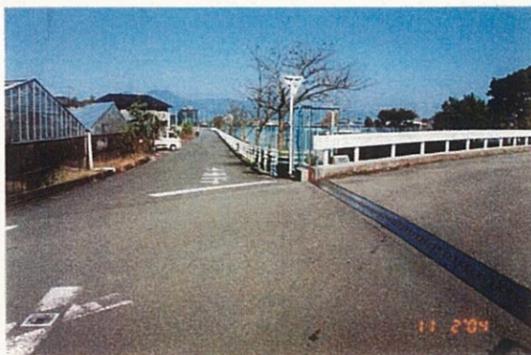
⑤市道大谷川右岸高松線（上流へ）

工事名	平成 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-6)
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日 H.	設計年月日 H.
事務所名	静岡県静岡土木事務所

大谷川平面図 S=1:1000



富士見台二丁目

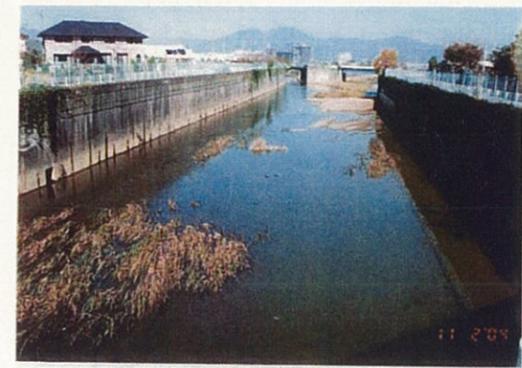


①市道大谷川右岸高松線（上流へ）

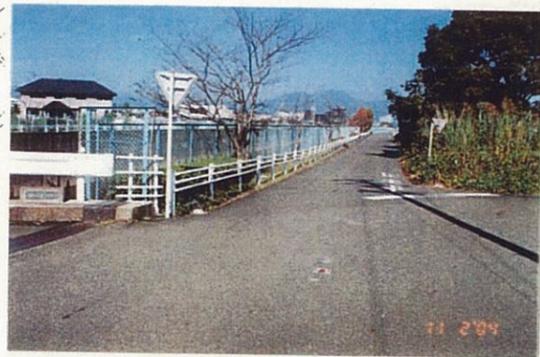


富士見台三丁目

④片山1号橋より下流を望む



②富士見台橋より上流を望む



③市道大谷川左岸大谷線（上流へ）



⑤（二）長沢川と大谷川放水路との合流点付近



⑥市道大谷川左岸大谷線（上流へ）



⑦同所より下流方面を望む

工事名	平成 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-7)
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日H.	設計年月日H.
事務所名	静岡県静岡土木事務所

大谷川平面図 S=1:1000

静岡市

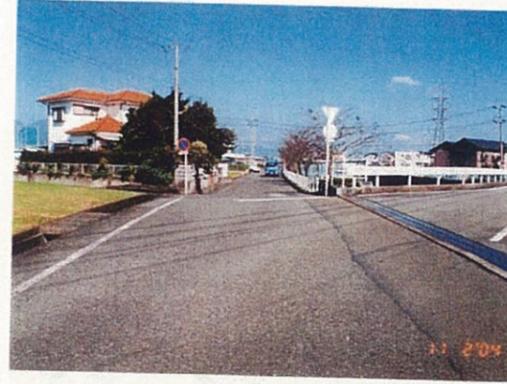
恩田原

片山

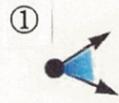
小鹿



①市道大谷川右岸高松線（上流へ）



④市道大谷川右岸高松線（上流へ）



②市道大谷川左岸大谷線（上流へ）



③片山2号橋より上流を望む



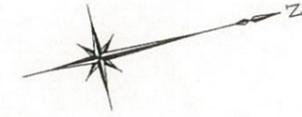
⑤市道大谷川左岸大谷線（上流へ）

工事名	平成 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-8)
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日H.	設計年月日H.
事務所名	静岡県静岡土木事務所

大谷川平面図 S=1:1000

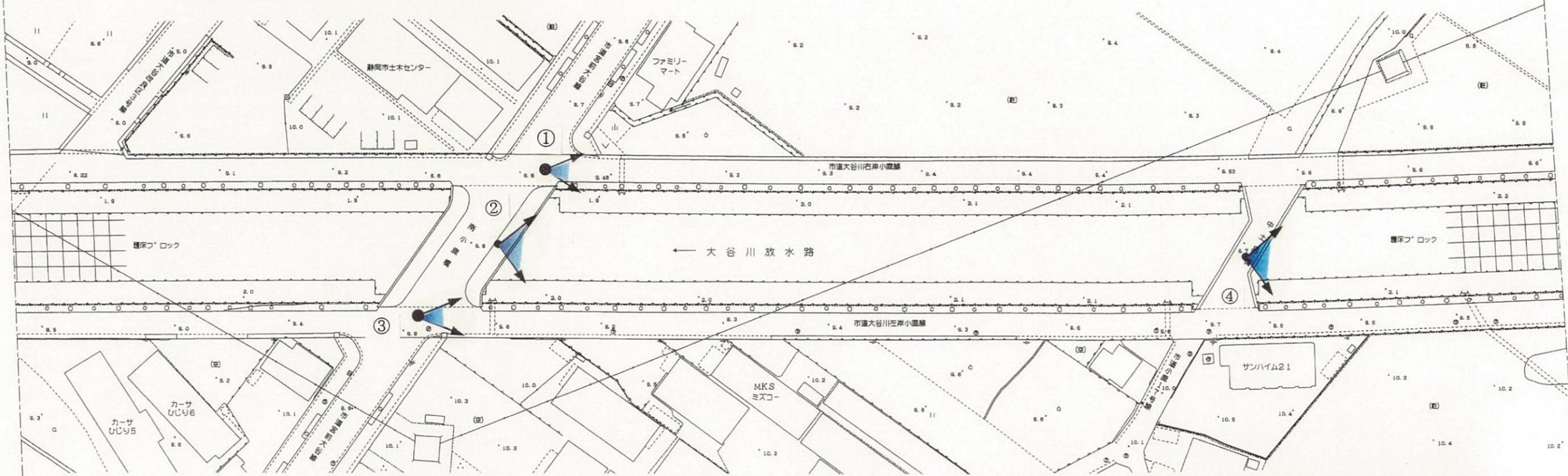
静岡市

小鹿



恩田原

①市道大谷川右岸小鹿線（上流へ）



②南小鹿橋より上流を望む



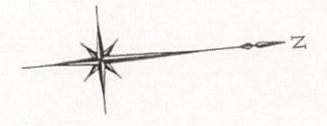
③市道大谷川左岸小鹿線（上流へ）



④中土呂橋より上流を望む

工事名	平成 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-9)
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日H.	設計年月日H.
事務所名	静岡県静岡土木事務所

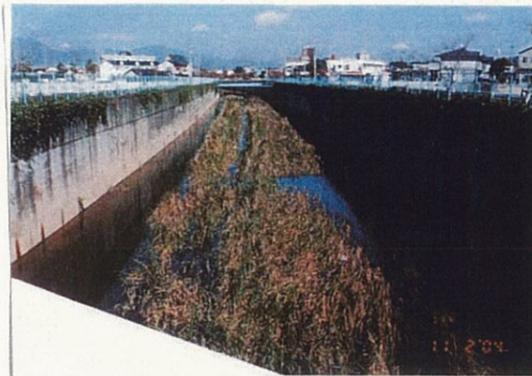
大谷川平面図 S=1:1000



④小鹿橋より下流を望む

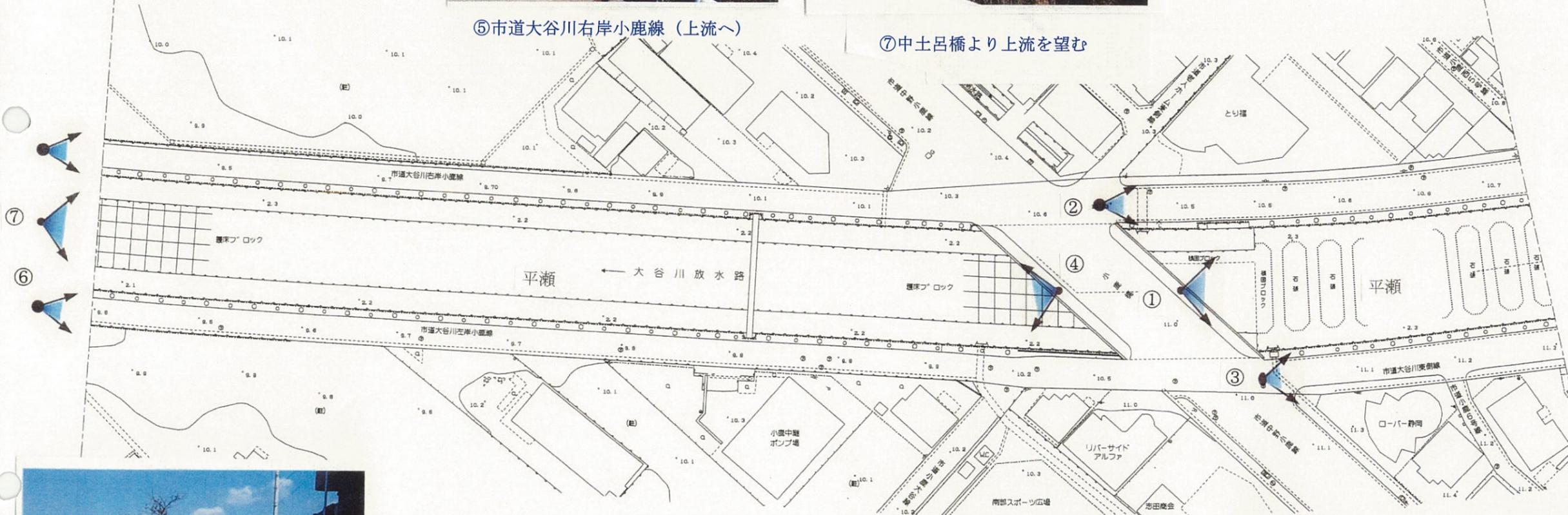


⑤市道大谷川右岸小鹿線（上流へ）



⑦中土呂橋より上流を望む

二丁目



⑥市道大谷川左岸小鹿線（上流へ）



①小鹿橋より上流を望む



③市道大谷川東側線（上流へ）



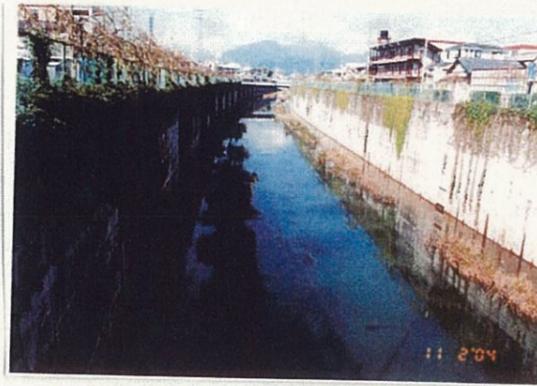
②市道大谷川西側線（上流へ）

工事名	平成 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-10)
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日H.	設計年月日H.
事務所名	静岡県静岡土木事務所

大谷川平面図 S=1:1000



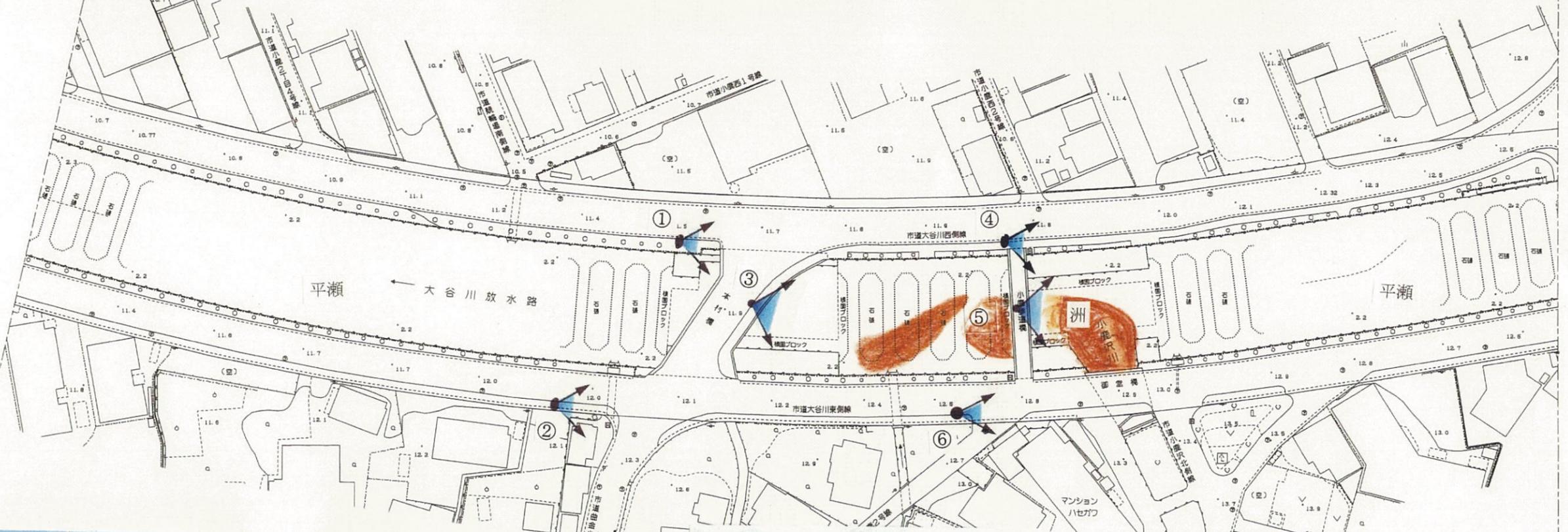
①市道大谷川西側線 (上流へ)



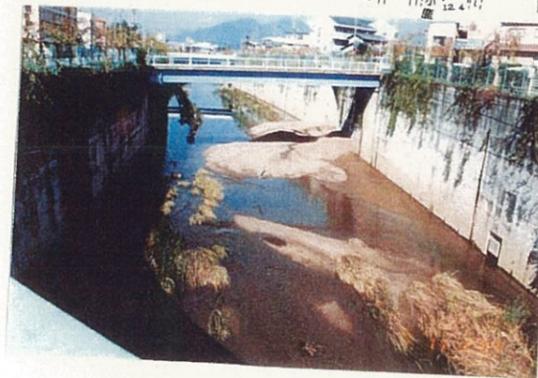
⑤小鹿歩道橋より上流を望む



④市道大谷川西側線 (上流へ)



②市道大谷川東側線 (上流へ)



③本村橋より上流を望む
小鹿沢川より流出した土砂

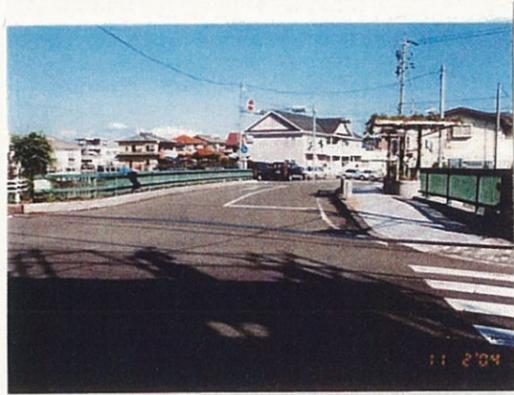


⑥市道大谷川東側線 (上流へ)

工事名	平瀬 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-11)
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日H.	設計年月日H.
事務所名	静岡県静岡土木事務所



①市道大谷川東側線（上流へ）



④ナスビ橋右岸より左岸を望む

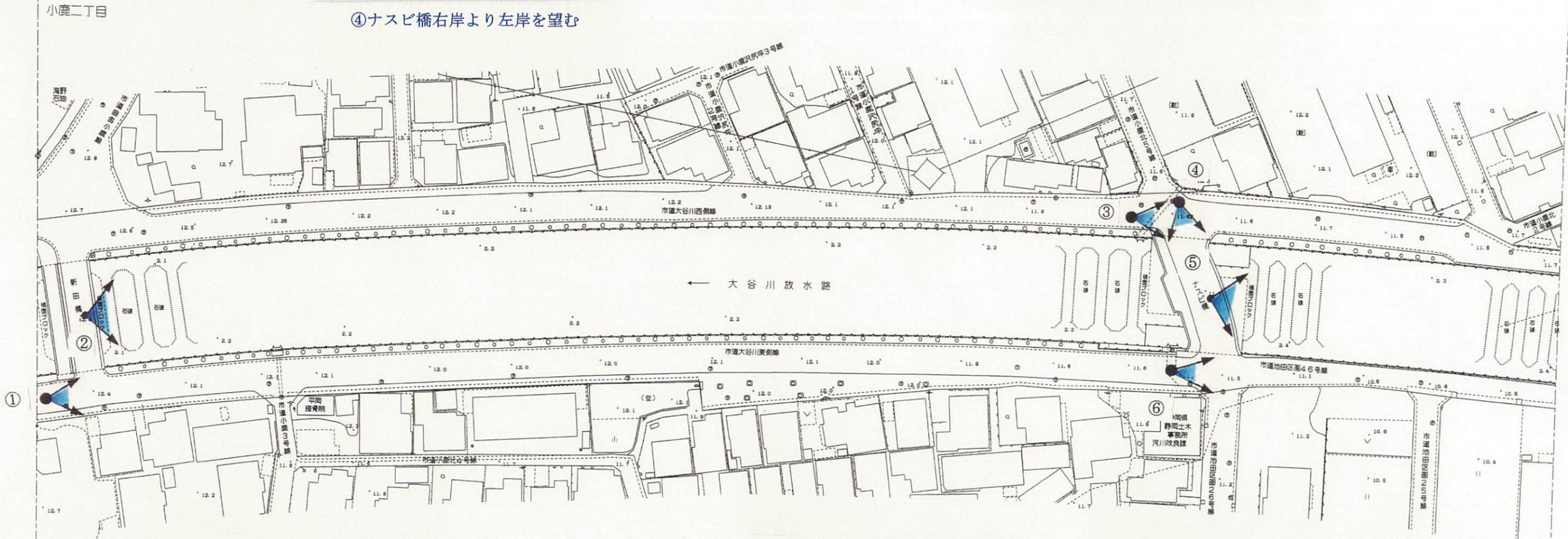
大谷川平面図 S=1:1000

静岡市

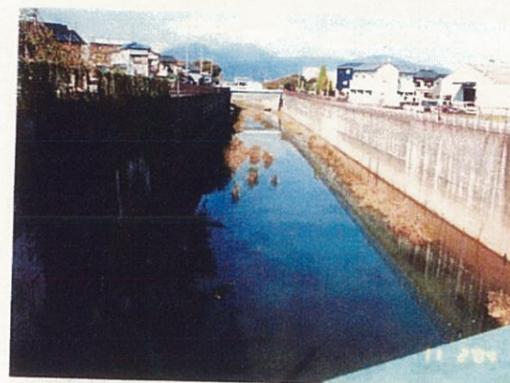
小鹿



③市道大谷川西側線（上流へ）



②新田橋より上流を望む



⑤ナスビ橋より上流を望む



⑥市道池田区画46号線（上流へ）

工事名	平成 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-12)
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日 H.	設計年月日 H.
事務所名	静岡県静岡土木事務所

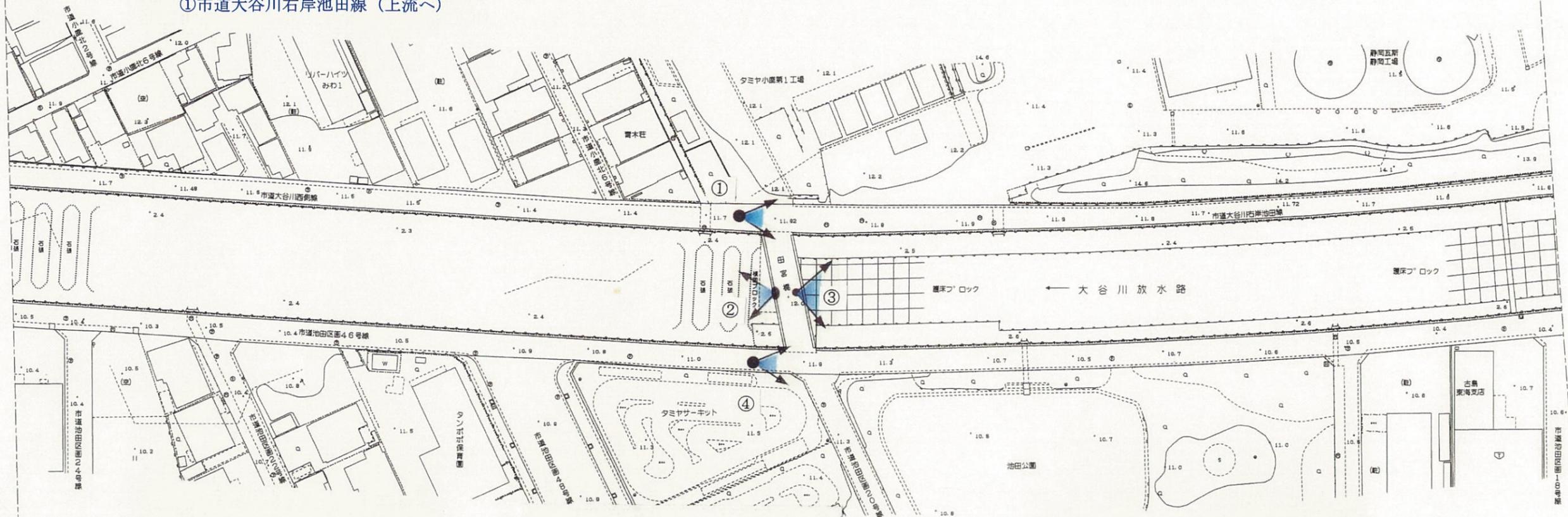
大谷川平面図 S=1:1000

静岡市



①市道大谷川右岸池田線 (上流へ)

池田



②田宮橋より下流を望む



③田宮橋より上流を望む

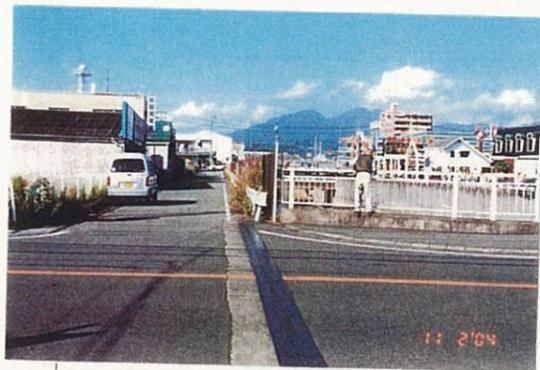
池田



④市道池田区画46号線 (上流へ)

工事名	平成 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-13)
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日 H. . . .	設計年月日 H. . . .
事務所名	静岡県静岡土木事務所

大谷川平面図 S=1:1000



①市道大谷川右岸池田線（上流へ）



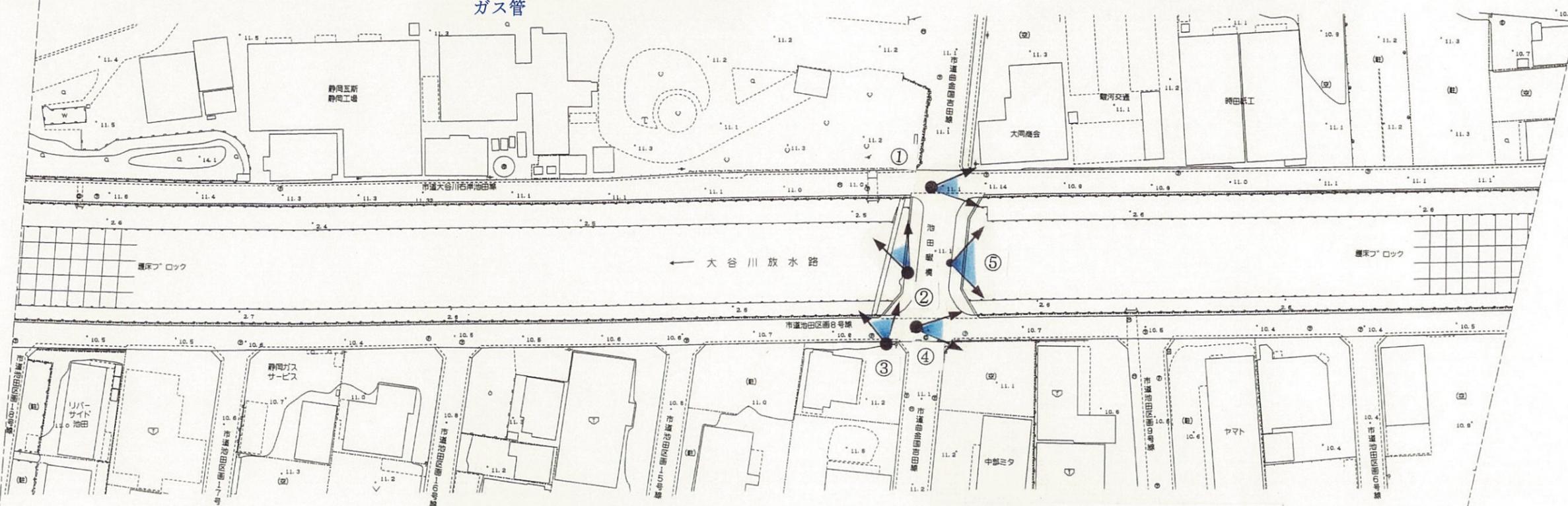
②池田堰橋上流に架設されている
ガス管

岡 市

池 田



③静岡瓦斯工場の排水口



⑤池田堰橋より上流を望む

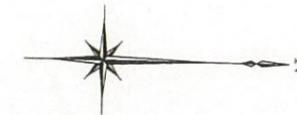


④市道池田区画 8 号線（上流へ）

工 事 名	平成 年度
工 事 箇 所	静 岡 市 地 先
図 面 の 種 類	大谷川平面図(20-14)
縮 尺 S=1:1000	図 面 番 号 案 中
測 量 年 月 日 H. . . .	設 計 年 月 日 H. . . .
事 務 所 名	静 岡 県 静 岡 土 木 事 務 所

大谷川平面図 S=1:1000

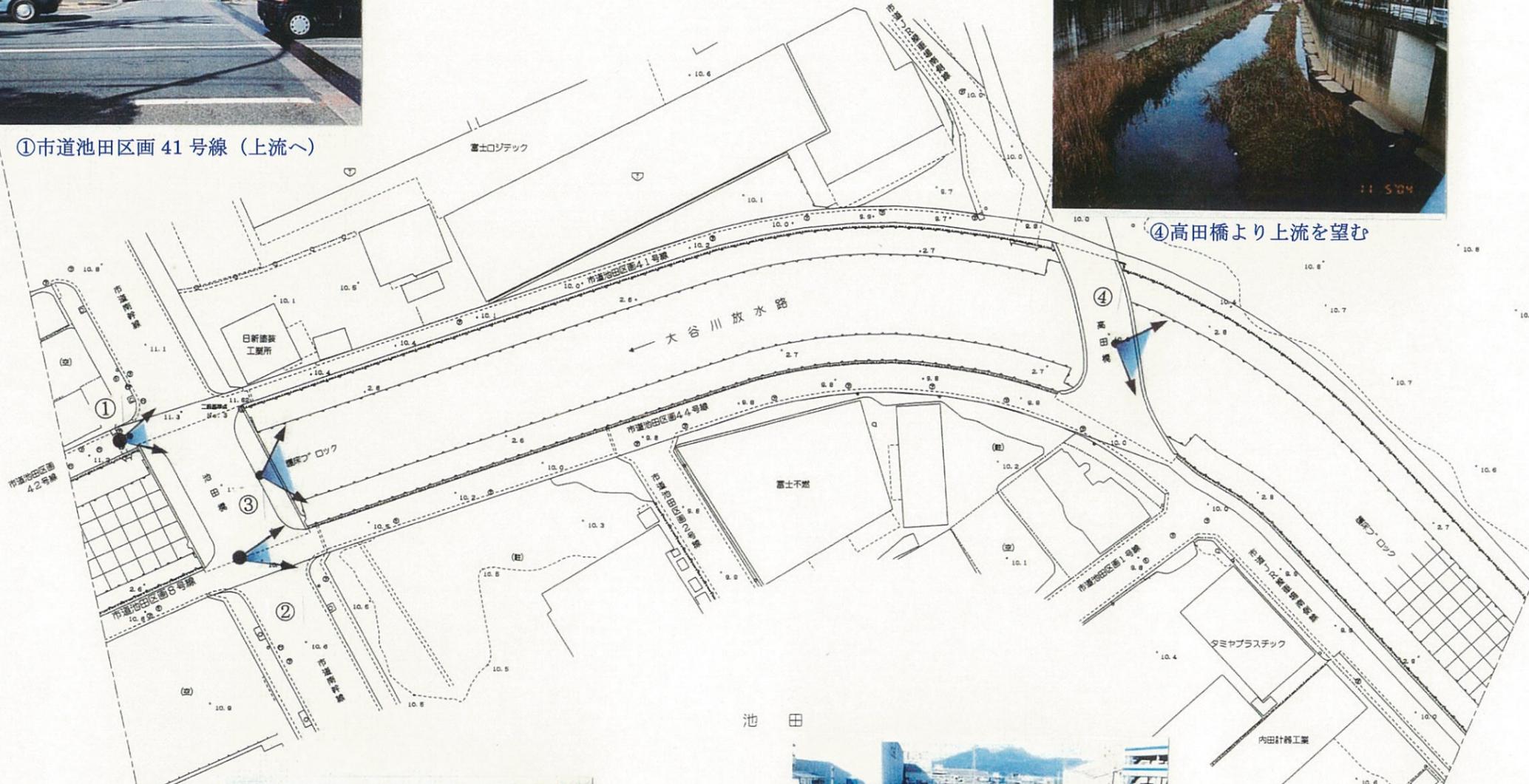
静岡市



①市道池田区画41号線(上流へ)



④高田橋より上流を望む



②市道池田区画44号線(上流へ)



③池田橋より上流を望む

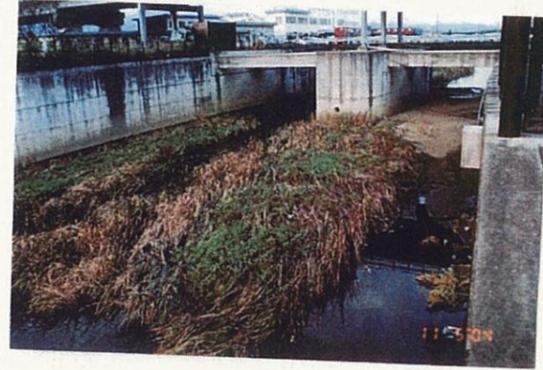
工事名	平成 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-15)
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日 H. . . .	設計年月日 H. . . .
事務所名	静岡県静岡土木事務所

大谷川平面図 S=1:1000

静岡市

長沼

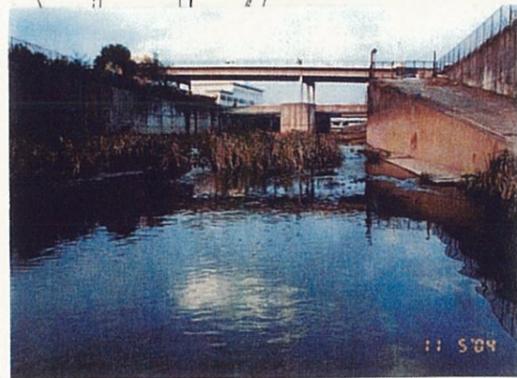
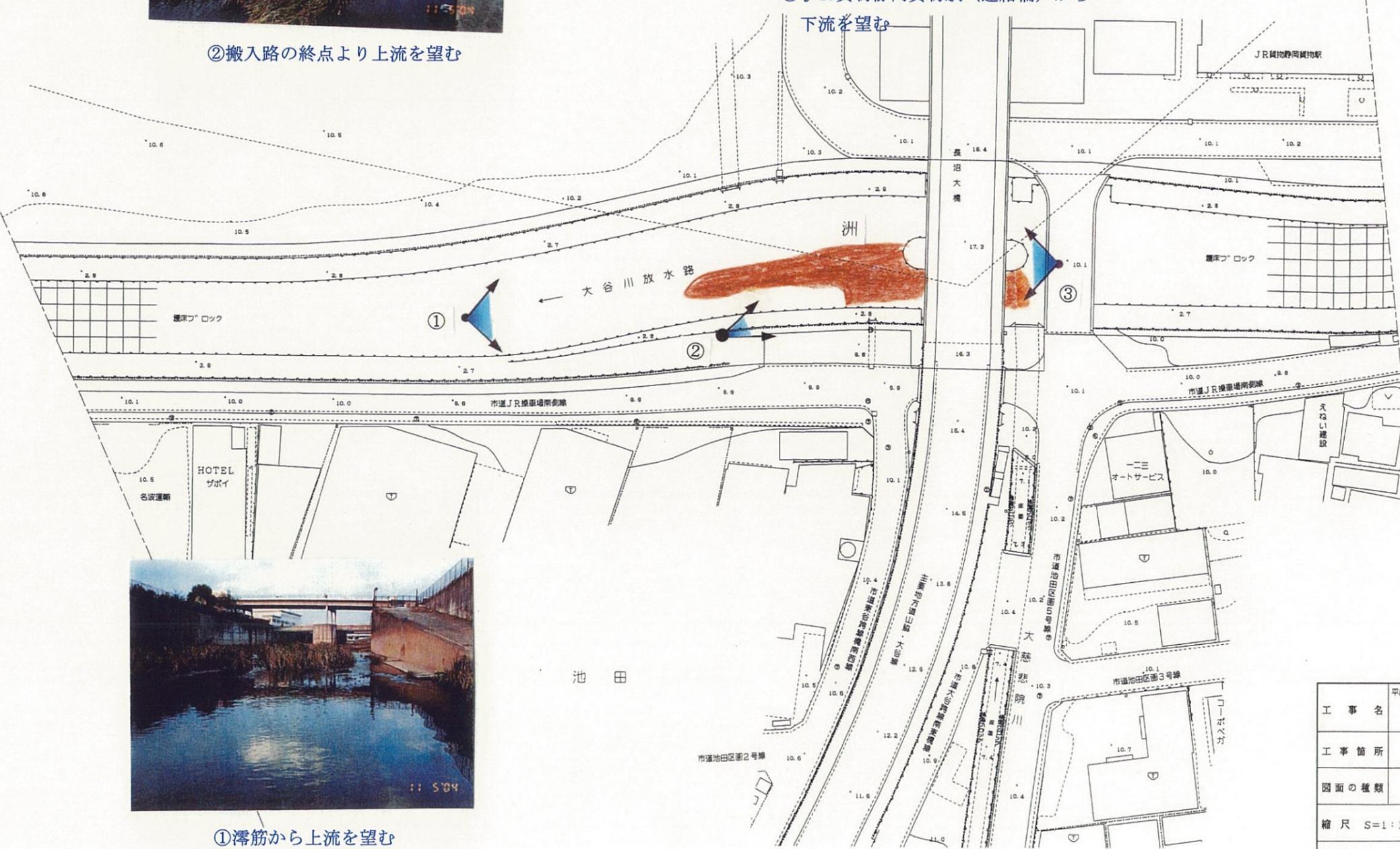
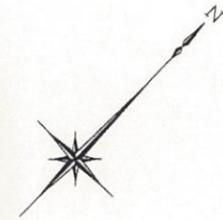
池田



②搬入路の終点より上流を望む



③JR貨物静岡貨物駅（連絡橋）から下流を望む



①滞筋から上流を望む

工事名	平成 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-16)
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日 H.	設計年月日 H.
事務所名	静岡県静岡土木事務所

大谷川平面図 S=1:1000

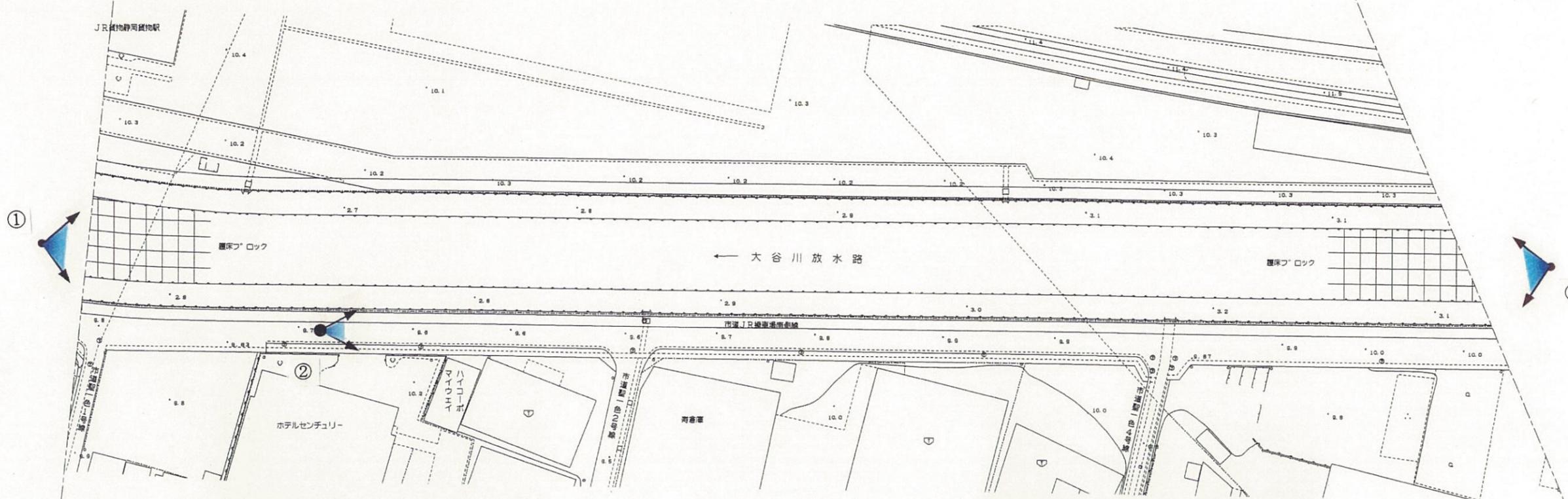
静岡市



①高田橋より上流を望む

池田

栗原



②市道 JR 操車場南側線

聖一色

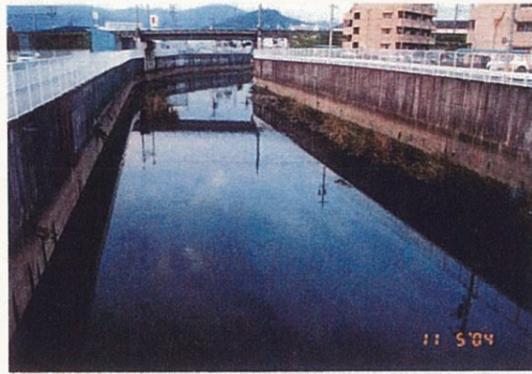


③栗原小橋より下流を望む

工事名	平成 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-17)
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日 H.	設計年月日 H.
事務所名	静岡県静岡土木事務所

大谷川平面図 S=1:1000

静岡市



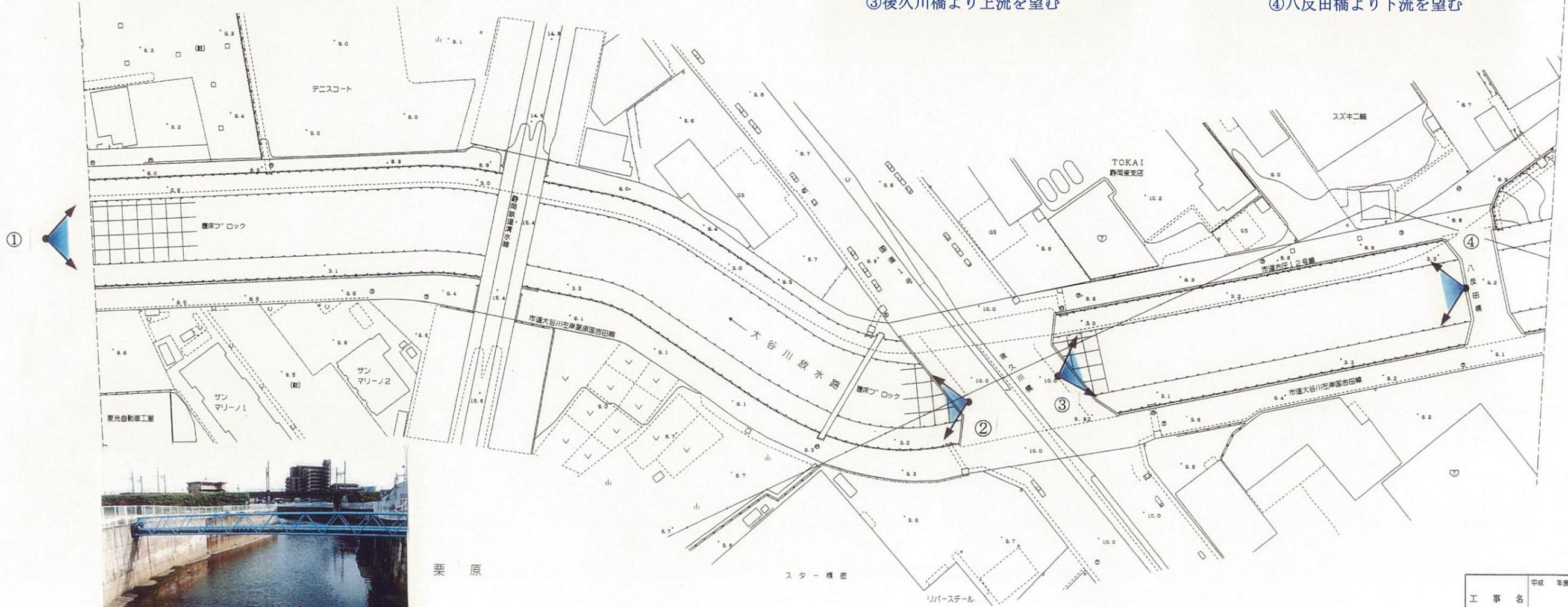
①後久橋より上流を望む



③後久川橋より上流を望む



④八反田橋より下流を望む



②後久川橋より下流を望む

国吉田

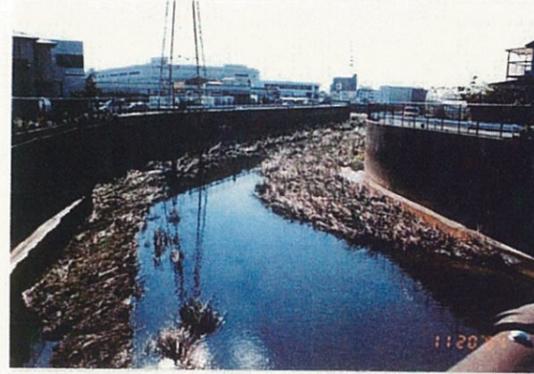
工事名	平成 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-19)
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日H.	設計年月日H.
事務所名	静岡県静岡土木事務所

大谷川平面図 S=1:1000

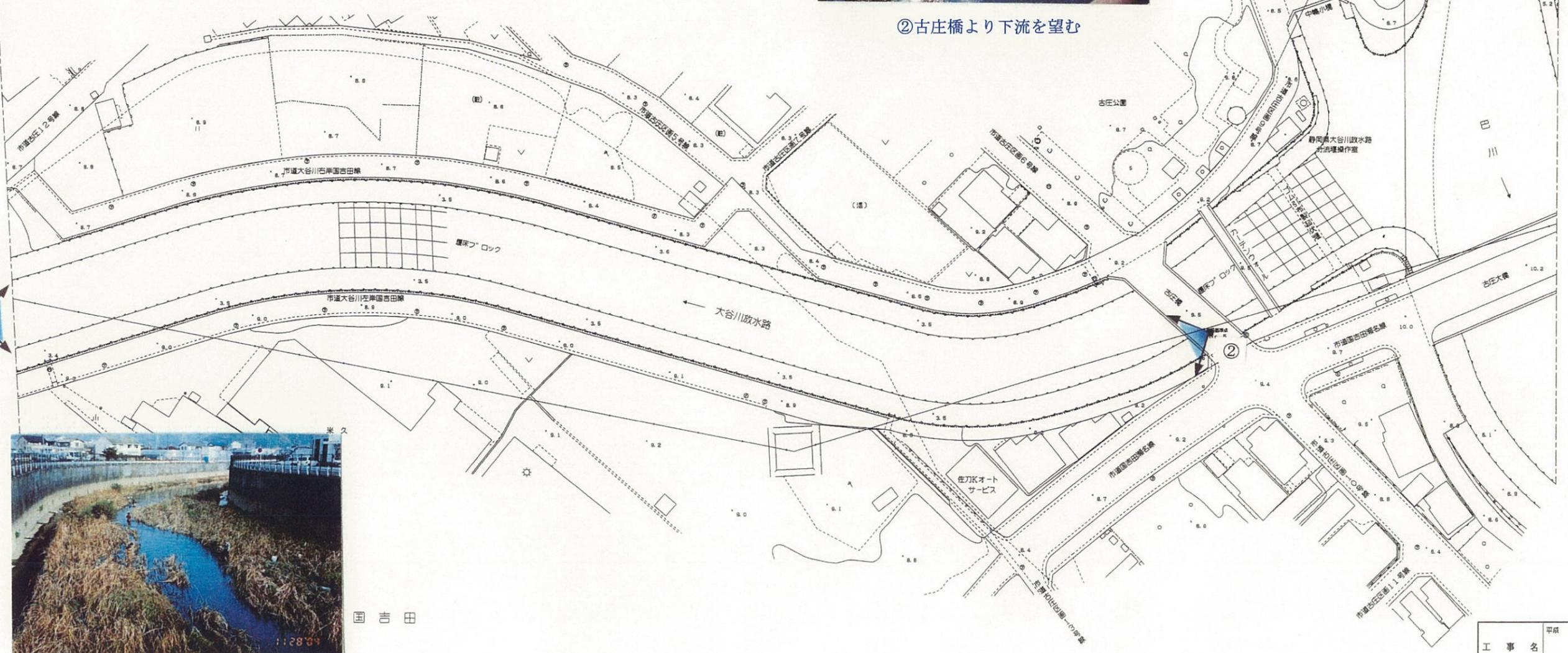
静岡市



古庄



②古庄橋より下流を望む



①八反田橋より上流を望む

吉田

工事名	平成 年度
工事箇所	静岡市地先
図面の種類	大谷川平面図(20-20)
縮尺 S=1:1000	図面番号 業中
測量年月日 H.	設計年月日 H.
事務所名	静岡県静岡土木事務所